

## 関西税務会計研究会セミナーのご案内

関西税務会計研究会 会長 久保田 金次郎

仲秋の候、貴所益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度「関西税務会計研究会」では、講師に 都築 巖先生を招聘し、『法令から読み解く税務調査の理論と実務』というテーマでご講演いただきます。

ご多忙中とは存じますが、多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。

尚、当セミナーは、**近畿税理士会の認定研修(3時間)**に該当いたします。

誠にお手数ではございますが、**10月25日(金)**までに別紙申込書にご記入の上、事務局へFAX頂きますようお願い致します。

### 【 記 】

開催日時	2024年11月15日(金) PM1:30~PM4:45
開催場所	ザ・ロイヤルクラシック姫路 4階 エディンバラの間 姫路市市之郷西野々841 TEL 079-222-1200
研修会費	無 料

〔内 容〕 PM1:30~PM4:45 (途中、休憩時間として換気を適宜実施)  
近畿税理士会3時間認定研修「関西税務会計研究会セミナー」

#### 『法令から読み解く税務調査の理論と実務』

～コロナ禍以降の税務調査の動向及びインボイス・

電子帳簿保存法導入後の税務調査への影響も含めて～

コロナ禍明けの税務調査については、従来と異なっているのではないかとようなことが言われています。

そこで、この研修においては、まず、税務調査手続き全般について国税通則法を基に読み解きながら、さらに最近の通則法の改正内容等を追っていき、これからの税務調査の動向などを探っていきたいと考えています。

また、インボイス、電子帳簿保存法などが税務調査にどのように関わってくるのか、さらに、消費税や所得税の還付申告などに対する国の対応などについても触れていきます。

さらに、いわゆる「プラットフォーム事業者等に対する情報収集などを前提にした、特定事業者等への報告の求め」などについても解説いたします。

講師 税理士 都築 巖 先生

#### 講師プロフィール

税理士 都築 巖 先生

立命館大学法学部卒業後、大阪国税局入局。平成13年 国税不服審判所を最後に辞職。

同年、税理士登録。平成13年5月、都築税理士事務所を開設。

現在では、税理士会関係団体、民間各種団体など主催の研修講師やセミナー講師として活躍中。

主な著書に『税理士事務所経営の極意』『税務力UP シリーズ 財産評価』『印紙税課否判断の実務』『平成23年12月改正通則法で税務調査はこう変わる!』など多数。

(お問い合わせ) TEL 079-243-2201 事務局 河野